

市民と議会との意見交換会で

出された意見への対応

令和元年11月10日に市民文化会館で開催した市民と議会との意見交換会で、参加した市民の方々からいただいたご意見、ご要望のうち、その後、市議会で見直し、ご要望のものや、直接担当部局へ伝えられたものについて報告します。

建設産業委員会

▼古知野地区と布袋地区の整備計画について

問 古知野地区と布袋地区の整備計画が極端に違う。都市計画税をたくさん払っている古知野地区に見返りがなく後回しで、第6次総合計画でも布袋地区のまちづくりばかりが進むようになっていく。以前市長に指摘したが、布袋地区が先で古知野地区は後回しの方針ということだった。

答 難しい問題です。大きな事業なので長期的な視点で考える必要があります。布袋地区が終われば、次の段階で江南駅周辺のまちづくりに向かうよう市長に伝えます。

対応 令和元年12月定例会において、一般質問を行いました。都市計画税は、公共下水道事業や布袋駅付近鉄道高架化整備事業などに多く活用してい

る形になります。市としては、財政状況を考慮しつつ、市街化区域全体のバランスを見ながら事業を進めており、都市計画税を有効に活用していきたいと考えています、とのことでした。

▼公共交通について

問 名鉄バス古知野B線の令和元年4月のダイヤ改正で、名鉄電車からバス最終便への乗り継ぎが悪くなり、タクシーで帰宅せざるを得ず、困っている。また、布袋地区から一宮市方面へのバス路線がない。

答 市を通して名鉄バスにそうした声を伝えます。

対応 令和元年12月定例会において、一般質問を行いました。市民の方々の要望につきましては利用者の声として、名鉄バスへ改めて伝えていきたいと考えています、とのことでした。

▼すいとびあ江南について

問 今のすいとびあ江南には魅力がなくて、行く気がしない。キャンプ場にして魅力をつくり活性化させてはどうか。京都府城陽市では、アウトドア企業と城陽市が共同で、都市公園内の宿泊施設をリメイクし、見事に復活させている。JR東日本の古い社宅を、老人ホームや保育園、マルシェなど多世代交流の場に

して復活させている事例もある。市民みんなの力ですいとびあ江南を活性化させていきたい。

答 貴重な意見をいただきました。行政が民間の力を借りて、様変わりをしている地域もあります。さまざまな知恵をいただき、すいとびあ江南の稼働率を上げていく方法を検討していきたいと思っています。

対応 ご紹介いただいた京都府城陽市の施設を視察しました。さまざまな課題はありますが、素晴らしい事例でありますので、参考にしたいと思えます。

厚生文教委員会

▼中学校の校則の見直しについて

問 校則の見直しを希望しているが、学校の担任、校長、教育委員会に申し入れても話を聞いてもらえない。誰に言えば見直しをしてもらえるか。

答 過去の同様の一般質問において、教育長が、各学校の管理者(校長)が責任をもつて定めると答弁しました。学校ごとにPTAで校則検討委員会を設けて、検討結果を校長に提言することがよいかと考えます。

対応 令和元年12月定例会において、一般質問を行いました。校則は校長の学校経営の一環なので、要望が実現するかどうかは別にして、学校に相談していただくのが良いと思います、とのことでした。

ことでした。

▼市民文化会館の予約について

問 各種団体でのイベント実施において市の後援を受けると、市民文化会館の予約を優先的にしてもらえるのは、どのような権限、基準や法律において行われているか。

答 後援の有無で、優先的に予約できることは認識していません。間違った運用を行っているのかどうか確認します。また、令和2年4月からは12力月前から予約ができるようになります。

対応 担当課に確認をしました。後援名義があると、通常の1力月前から予約できることになっていましたが、令和2年4月以降は、12力月前から予約できるようになることに伴い、後援名義による優先予約については、廃止することにしました、とのことでした。

▼新図書館について

問 現在の図書館ではイベントを行える場所がない。新しい図書館にはイベントルームがあり期待しているが、できれば100人から200人が入れる多目的ホールがほしい。文化の拠点として発信できる場所を作ってほしい。

答 これからの図書館は人と人を結ぶ場所ではないかと考えています。今の計画の中では、図書館とは別に設置する交流スペースに会議室を設けることになっており、その延床面積が130.0㎡です。ので、いろいろなイベントに活用していきたいと考えています。

対応 担当課に要望をしました。地元100人前後の会議ができる交流スペースを作ります。そこをうまく活用していただきたいと思ひます、とのことでした。
▼高齢者福祉について

要望 平均年齢世界一の日本は、平均年齢から健康寿命を引いた年数も世界一です。健康寿命を延ばすことを考えるのは厚生文教委員会の役割なので、検討してほしい。

対応 令和元年12月定例会において、一般質問を行いました。高齢者の健康寿命向上に向けた介護予防教室などの実施状況について、生活機能の低下が見られない自立した高齢者に対する一般介護予防事業として、平成24年度に足腰弱らん教室を開始したのを皮切りに、教室の種類や会場数を増やし、拠点の拡大を進めています。現在、足腰弱らん教室、楽しく健康づくり教室、ちいきのきょうしつ、講師派遣型運動教室のちいきのうんどうきょうしつを実施しています、とのことでした。

問 市は、地域ケアの3層の部分について、どのような展望を持っているか。
答 市は現在2層（地域包括センター）で実施している状態です。3層の展望については、今後確認していきます。

対応 令和元年12月定例会において、一般質問を行いました。1〜3層の在り方について、令和元年度から市全域を1層、日常生活圏域を2層と設定し、1層の地域ケア会議を市が、2層の

地域ケア会議を地域包括支援センターが担っています。3層は設定していませんが、各地域包括支援センターがそれぞれの生活圏域で地域包括ケアを進めていく中で、個々の地域づくりの単位が、3層目になるかと思ひます、とのことでした。

総務委員会

▼老人福祉センターについて

問 老人福祉センターが市民の自主避難所として正しいのか。耐震問題、内水氾濫のある所でもあり疑問だ。KTXアリーナが自主避難所として位置付けが変更となる予定はあるか。

答 市内にある自主避難所が老人福祉センター1カ所だと、市の北や南の方に住んでいる市民が利用できないので、市内に3カ所あったほうが良いと提案し、検討してもよいと考えます。またKTXアリーナについても、自主避難所にするよう提言します。

対応 令和元年12月定例会において一般質問を行いました。今回の台風19号では、総合的に判断して自主避難所を1カ所としましたが、台風の規模などにより、複数の自主避難所を開設することも検討をしています。今後、複数の自主避難所を開設する場合には、地域のバランスを考慮しながら検討していきます、とのことでした。

▼ハザードマップについて
問 江南市のハザードマップを見たら、前に五条川が越水した南部地域の箇所が載っていないが最新のものではないのか。
答 避難所の情報も含めて、令和2年度か3年度には作成できると考えています。

対応 令和元年12月定例会において、一般質問を行いました。ハザードマップを作成します、とのことでした。

一般社団法人江南青年会議所との意見交換会を実施しました



日時 2月4日
午後7時30分～
場所 老人福祉センター

参加人数 江南青年会議所 柴田浩志理事長他13人、議員16人

次のご意見などがありました。
▼市の魅力を発信するために、市をPRするシールを作って、公用車や協力団体、企業の車両に貼っていただければどうか。
▼自転車道の整備を図ってほしい。
▼日曜日に保育園に預けられるよう支援の拡充をお願いしたい。

▼選挙権年齢が満18歳以上になったが、子どもが選挙の情報をテレビやインターネット中心に得ており、いいイメージをもっていない。そんな環境を変え、主権者教育を学校でもしてほしい。

滝高生との懇談会を実施しました



日時 2月14日
午後3時30分～
場所 滝高等学校

参加人数 滝高生 東直興生徒会長他10人、議員10人

次のご意見などがありました。
▼名古屋の円頓寺商店街で取り組んだ企画や地元の行きたくなる商店を参考に、江南市の商店街の活性化に生かすことができないか。
▼通学路にもなっているため、江南駅付近での受動喫煙が気になる。

政務活動費について

昨年、市議会でも実施した市民アンケートで、議員の調査研究などのために会派に交付されている政務活動費の使途を、公表すべきのご意見がありました。政務活動費の使途につきましては、市議会ホームページでお知らせをしていますのでご覧ください。